

宇都宮商業會議所月報

第九拾九號

稟告

一 商工業の進歩發達を促すべき事實又は法律命令
其他商業の發達を阻害する事情あらは速に其狀
況并に之に對する御意見等御一報あらんことを
望む

一 商工業に關し獎勵すべき習慣若しくは矯正すべき
弊習等御認めの場合には細大を御報知あらん
ことを望む

一 地區内商工業組合の組織に關しては當所は出來
得る限り斡旋盡力すへし若し之れか組織の必要
を認められたる場合は申出られたし


一 地區内商工業組合にして總會又は役員會々場に
充つる爲め會議室の使用を望まると向に對して
は無料にて貸與し且つ當所の事務に支障を來さ
ざる限り其事務をも補助すへし

一 地區内商工業者各位にして商工業に關する事項
に付諸官廳其他に對し本會議所の照會又は紹介
を得んことを望まると場合は遠慮なく申出られ
たし

一 本會議所は商工業者各位の時々來所高見を演述
調査研究の資料を供給せらるゝを切望す

一 本會議所には官報、通商彙纂、商標公報、特許
公報、實用新案公報、山林公報、各地商業會議
所報告書其他商工業に關する各種統計及諸般の
有益なる圖書備付あり商工業者各位の隨時來所
閱覽あらんことを望む

宇都宮商業會議所



資本金 五百萬圓
積立金 三百九十三萬圓
諸預金 三千二百餘萬圓

宇都宮市大工町四十八番地

合名 安田銀行
會社 宇都宮支店
(電話百五十番)

本店所在地 日本橋區小舟町三丁目九番地
支店出張所 無手數料
各地送金 貳拾壹ヶ所

弊館撮影の寫眞は 長くも度天の光榮を賜ふ

器械の完全は 北東はるせ

宇都宮市旭町壹丁目

三光寫眞館

寫眞店 眞寫
電話 二三二番
主館 山縣源吾

行發回一月每	定價壹部金參錢	郵稅壹部金五厘	廣告料廿二字詰	一行金十錢	別廣告ハ三割増	六ヶ月以上特	約ハ一行金八錢
編輯人 荒川義興	印刷所 宇都宮市旭町一丁目	發行所 宇都宮商業會議所	電話 二五五	印刷所 宇都宮市大工町	電話 三六五	印刷所 宇都宮市大工町	電話 三六五

資本金貳百萬元

東京支店 東京市日本橋區橫山町三丁目
電話 漢化一八二番

日光支店 下野國日光町
電話 二〇番


下野國宇都宮市大工町

株式 下野銀行

會社

眞岡支店 下野國眞岡町
電話 二二三番

新石町支店 宇都宮市新石町
電話 三四〇番



株式 宇都宮銀行

會社

材木町支店 宇都宮市材木町
電話 四五〇番

足尾支店 下野國足尾町
電話 一二番

足尾出張所 下野國足尾町
電話 八番

電話 (一三三番)

電話 (六〇〇番)

●諸貸附、割引、爲替、荷爲替、代金取立、(一)發行
●總ラ精々御便利ニ取扱可申候

農業進歩の趨勢

全國に於ける三十六年の一毛作田地は百八十一萬八千六百四町歩であつたが耕地利用方法の發達につれて三十九年には百七十八萬二千六百二十六町歩四十二年には百七十四萬七千九百七十六町歩に減じたさうして二毛作以上の田地は三十六年の百一十萬二千二百八十町歩より三十九年の百五十五萬七千七百七十七町歩に増進した即ち之れが合計に於ても三十四年より三十九年の間に百二十二萬五千三百六十町歩の増進した即ち之れが合計に於ても三十九年の二百八十三萬八千三百三十五町歩に増進したのである。

次に自作及び小作反別について其の變化を見るに三十六年の自作田地は二百九十二萬一千七百八町歩は四十二年に於て三百六十八萬三千七百七十七町歩に増進し小作反別も亦三十六年の二百三十四萬九千九百九十九町歩より四十二年は二百五十五萬三千七百七十八町歩に増進した其の合計反別に於ては三十六年の五百二十七萬九千九百八十八町歩は四十二年に五百六十六萬二千八百五十五町歩に増進したのである尙ほ牛馬耕田地反別が三十六年の二百二十六萬四千九百九十九町歩から四十二年の二百五十七萬五千七百七十町歩に増進したのは我が農作上に於て人力を省き獸力を利用して經濟的耕作方法の流行せんとする好風潮を見るに足ることである。

土地利用の割合

日本の土地利用は之れを開明國に比すると頗る原始的であつて且つ疎放であるそれは左の表を見てわかる。

全國に對するもの

白	五三・五	耕地	日	一七・〇	草地
佛	四三・七	森林	英	一三・三	荒地
伊	三三・七	水田	瑞	一〇・五	池田
太	二七・三	水田	丹	一〇・五	池田
義	二七・三	水田	瑞	一〇・五	池田
利	二七・三	水田	瑞	一〇・五	池田
西	二七・三	水田	瑞	一〇・五	池田
國	二七・三	水田	瑞	一〇・五	池田

産業組合と鶏卵

日本では山間の僻邑に至るまで養鶏業が盛んであるが内地に於ける卵の消費高は至つて少くないにも拘はらず日本から之れを輸出することの多いのみならず支那より之れを輸入するもの五十萬圓以上百萬圓に及ぶといふ有様であるこれは家畜産に關する共同協同の方法が備はらなかつたために其利を取ることが出来なかつたのである丁抹には卵の販賣に於いて四百六十五の組合があつて各家各戸より卵を集め之れを整理荷造して中央市場に出すことにしてあるが其の輸出は頗る盛んであつて千八百九十四年に一億三千四百を輸出したものが千九百三十四年には四億六千四百に上つたといふことであるこれ皆産業組合活動の功によるものであつて日本の

農民の負債額

如きも大に學ぶ可き所であらう。

全國農家の現在負債額は左表の如く九億四千餘萬圓である此内比較的の低利(七分乃至九分)の勸業銀行貸付金は九千七百餘萬圓農工銀行貸付金は九千七百餘萬圓合計二億三千万餘圓に僅かに二割四分五厘を占めて居るに止まり餘餘の七億千三百餘萬圓は負債總額の七割五分五厘に相當する分は割乃至一割五分の高利であるさうして負債の原因は生計の困難三割二分五厘農業資金三割一分二厘不測の障害一割五分一厘舊債償還一割一分二厘買入資金六分四厘商業資金三分七厘である。

貝殻の利用

日本には天然的に多種類の貝が産出するけれども其の利用の範圍は至つて狭いものである歐洲殊に佛蘭西、伊太利を以ては風に種々の方面に向つて其の應用を研究し山水人物等を彫刻した置物やペン、ブローチなどの極めて麗麗高雅なもので製出されてゐるが其の原料はと言へば皆日本及南洋から取るのである四十一年の統計によると我國の貝の輸出高は約三百萬斤價格九萬圓に實に佛伊兩國に行き其他で精製せられて美術品とある日本人が伊太利に遊んで買つて歸る一個十五圓乃至二十圓の貝細工は殆んど總て我が長崎から一ツ五十圓位で渡つたものを精製したものである其の重なるものは夜光貝、花辨子安貝、花紋子安貝、水字貝、万年貝、千歳貝、黒蝶貝、白蝶貝、駱駝貝などである是等の貝を原料のまゝ廉く外國へ出すのは惜しいものだ日本に於て之れを美術品に精製する方法を講ずれば些少ながらも富國の一助となるであらう

如何にして財界の不振を救ふべきや

萎靡不振極まる現在の我國情を誘致した原因は種々あるであらうが其根本原因は日露戰役に由り我國が非常に負擔を増した事に歸し得ると思ふ即ち我國は増税内國債及び外國債に依り一時の急を救ふて來たのである此中外國債は明に國民の負擔を増したには相違ないが兎に角外國から借り入れた多額の金が内地で消費された爲に商工業の發達は衰へた事は決して尠くはない然し此種の消費は決して永續すべき性質のもので無いら間もなく其影を没し唯過重の負擔のみが依然として残り若くは更に大に増して居る有様である今日商工業の不振はぬのは全く此爲である然らば如何にして此病弊を治療して新局面を開闢すべきかといふに之れは一面に於て國民負擔の軽減を計ると同時に他面に於て商工業者が活動の新天地を開拓して此負擔に堪ゆるやうに爲ねばならぬ今日我國が列強と均勢を保つ爲には陸海軍の擴張も止を得ぬ事であらう併し事には緩急がある此宜きを制すれば或る程度の負擔は然かく困難を感せず済むが其法を誤れば僅かの事も甚しい打撃を與ふるに極つて居る譬へば良く培養してから刈り取れば充分の收穫があつて負擔に堪へ得るが成熟せぬ中に摘むと收支相償はぬ事は何人も疑無き所であらうと思ふ我國の現在は極力民業の發達を計る必要に迫られて居るから是非一時休養させなくてはならぬ時期である國民の負擔は今や其極點に達して居る故に彼の師團増設の如きは先づ反對せねばならぬ事と信する若し五年後に於て或る程度迄軍備擴張の要あらば先づそれ迄に民力を養ふて負擔に堪

露紙の日露再戰論

露國の半官報「ノウウオニ、ウレンヤ」は乃木大將が近く露國を訪ふことにつき旅順敗戦についての愚痴を今更らしく繰返し乃木大將は傲然として全

東西生殖力の比較

土肥醫學博士の談によると獨逸は一方に健全なる文明を輸入すると同時に經濟其他の關係上佛國風の出生制限的風俗を入れて人口の増殖率を減じたが此に注意を要することは斯く増殖率が低減したにも係はらず四十年前佛戰争後に於ける獨逸の人口四千万人に比して今は六千七百万人に増加してゐる然るに我が日本人は同じく四十年前に三千五百万人から五千万人に達したのである勿論此間二度の大戦はあつたけれども四十年前に五百万の差が四十年後に一千七百万の差を生じたと思はれば日本人の増殖力も決して世間に想像されてゐる程太なるものではない尤も日本は取って出産率は減じたわけであつて死亡率が増したのだといふことである。

Table of commodity prices for the left page, listing items like copper, oil, and various types of rice with their respective prices and origins.

Table of commodity prices for the left page, continuing the list of items and their prices.

Table of commodity prices for the left page, listing lumber and other building materials.

Table of commodity prices for the left page, listing various types of lumber and their prices.

Table of commodity prices for the right page, listing items like rice, oil, and various types of rice with their respective prices and origins.

Table of commodity prices for the right page, continuing the list of items and their prices.

Table of commodity prices for the right page, listing lumber and other building materials.

Table of commodity prices for the right page, listing various types of lumber and their prices.

京都宮物價 (四十四年) 印減

品名 立物名稱 本年六月 前年六月 比較

役員會

明治四十四年六月十七日午前十一時三十分開會十二時三十分閉會出席及議事左の如し

- 出席者 上野松次郎 田中勝次郎 齋藤大兵衛 吉田源吉郎 篠崎安平 河合長藏 黒川徳藏 村山金平 福田富次郎 相場直三郎 横倉正吉 石田常造

各部に於ける現務を調査し事務受渡書作製新舊役員之に記名調印す

二部長選挙の件 協議の結果商業部長、工業部長、會計部長は前任者村山金平、篠崎安平、田中勝次郎の三氏を再選し庶務部長は會頭に指名を託し其結果相場直三郎氏當選す

三民事訴訟法、競賣法及附屬法令改正に關する件 四小商工業者の資金融通状況調査の件

右二件は來廿日臨時總會開會議事に附することに決す

五書記長開議事項報告の件 本件は出席者荒川書記長より其經過の要領を報告す(九十七號五百參照)

臨時總會

明治四十四年六月廿日午後五時三十分開會全七時十分閉會出席及議事左の如し

- 出席者 大野七兵衛 吉田源吉郎 相場直三郎 渡邊長吉 上野松次郎 青木芳三郎 石田常造 田中勝次郎 河合長藏 村山金平 福田富次郎 大橋東太 田中利三郎 大橋東太 田中勝次郎 特別議員 木多録吉 全矢島 中 全矢板 武 議員 石田仁太郎 全行森 龍吉

上野會頭議長席に就き

出席、缺席議員ノ員數 一本年五月廿五日附テ以テ新任役員認可セラレタルトト特別議員ノ席次ハ年輪順ニシタルトト

右の諸件を報告し第一號議案の議事に入る 一民事訴訟法、競賣法并附屬法令改正に關する件

議長(上野松次郎君) 本件は司法大臣の諮問に係る旨を告ぐ

三十二番(田中勝次郎君) 此諮問案は慎重に審議を要するを以て短時間にては到底取調難し就ては特別議員石田行森南君の盡力を煩したく且つ役員の外に五名の調査委員を挙げ調査すること

七番(相場直三郎君) 三十二番に賛成 卅四番(大橋東太君) 田中君の説は役員の外に委員五名を挙げんとせらるゝるも本員は役員と行森石田特別議員に於て調査せられたら然らば委員を舉ぐるの必要をかるべし

三番(吉田源吉郎君) 三十四番に賛成 十番(渡邊長吉君) 三十四番に賛成 卅二番(田中勝次郎君) 本件は頗る重要な議案につき成るべく多數にて取調ふるの必要あり篇

三十四番(大橋東太君) 田中君の御配慮も理由あること、信するを以て前説を撤回せん 議長(上野松次郎君) 三十二番の説に反對なきに至りたるか之に決し異議なきや

異議なきと呼ぶものあり 議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名することす

議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名することす 議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名することす

りの照會ありて照會書を朗讀す 七番(相場直三郎君) 本件も役員及矢板手塚兩特別議員の外五名の委員を挙げ調査する方然るへし而して委員は議長より指名せられたし

三十九番(村山金平君) 七番に賛成 三十四番(田中勝次郎君) 十六番(石田常造君)も七番に賛成

議長(上野松次郎君) 七番の説に多數の賛成あり別に反對の意見なきも之に決し異議なきや

議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す 議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す

議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す 議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す

議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す 議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す

議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す 議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す

議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す 議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す

議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す 議長(上野松次郎君) 然らば委員は退て指名す

庶務

明治四十四年六月中執行シタル事務左ノ如シ

- 一收受文書 自第一〇〇號 百九十四件 一發送文書 自第一一四號 二十八件 一雜件 無記號モノ 百九十三件 合計 四百五十五件

重要事項

一甲信越實業視察團出發ニ付長野、松本、新潟、長岡、甲府、八王子ノ六會議所へ紹介狀ヲ發ス(六月四日)

一甲府商業會議所ヨリ甲信越實業視察團旅行ノ目的、人名等ニ關シ照會アリタルニツキ回答ス(六月七日)

一甲越信實業視察團ヨリ各會議所ニ於テ歡待ヲ受ケタル旨報告アリタルヲ以テ夫々挨拶狀ヲ發ス(六月十四日)

一役員會ヲ開キ新舊役員事務受渡、部長選舉小商工業者ノ資金融通狀況及民事訴訟法改正ニ關スル調査ノ諸件ヲ附議ス(六月十七日)

一臨時總會ヲ開キ京城ニ開會セル聯合會ノ議事ヲ報告シテ民事訴訟法、競賣法并附屬法令改正ニ關スル調査ノ件、小商工業者ノ資金融通ニ關スル狀況調査ノ件及店員獎勵ニ關スル件ニ調査委員ヲ設定ス(六月廿二日)

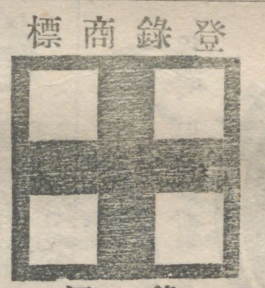
一北海道水産試驗場ヨリ依頼ニ係ル目拔魚ノ精漬品評ノ爲メ市内當業者ヲ招集ス(全上)

一北海道試驗場室蘭出張所へ目拔魚ノ品評成績ヲ回答ス(六月廿三日)

一直江津港角澤新造ヨリ依頼ヲ受ケ市内肥料業者ノ氏名ヲ回報ス(六月廿八日)

一宿郷町篠原久兵衛ヨリ依頼ヲ受ケ産種ノ輸入額

調査方外務省通商局へ囑託ノ處回答ヲ得タルヲ以テ全人へ回報ス(六月廿九日) 一明治四十三年中ノ市内生産狀況、貨物聚散狀況ヲ調査ス 一第十四師團經理部ノ依頼ヲ受ケ糧秣ノ價格ヲ調査回答ス 一本年五月中ノ諸物價、貨物聚散及金融狀況ヲ調査ス



明保野 新部 幸吉 電話 三六四番

明保野は學理と實驗とに依て醸造したる酒質醇良 滋養豐富香味絶佳なる無比の一品にして凡て好酒 諸賢の好評を博し販路日に擴張の盛況に在る 故に深く愛顧諸君に感謝する所なり將來益々酒質を 改良に努むへし希くは倍舊の御引立あらんことを 敬白

活版印刷 寫真版刷 三共社 電話 三六三番 角前察警市宮都宇

Advertisement for 'Sanjū' (三軒) featuring 'Easy Western Food' (輕便洋食) and 'Sanjū' (三軒) with contact information for the Miyako City Police Station.

和洋御料理及天麩羅原
 は元濱方と特約日々新鮮
 のののを重み直輸入風味
 と衛生を重んじ御手軽と
 迅速は最も第一の特色



番七百六 番二百二 話電

牛肉の原料は有名なる
 戸米澤豚肉は海外より
 種の者を選み品質精良
 格低廉衛生経済富強兵
 欠可ら日常食品の親玉

て芳香佳味且つ
 廉價なり江湖の
 諸君奮て御試用
 あらん事を乞ふ



菊の友は原料を
 精撰し學理を應
 用し最も斬新な
 醸造方法にし

館列陳店商澤關

▲宇都宮市の中央二荒山神社の坂下ゆへ
 土産物御求は至極御便利であり升
 ▲獨立の勤工場にて市中無類第一の廉
 價正札附に致してあり升
 ▲流行品は他店に魁くるは申す迄もな
 く花客様にて御承
 知の筈であり升
 ▲品が善く
 て直が安
 く有る有
 ゆる品は
 取揃てあ
 りす



貨物、保管、荷爲替取組
 宇都宮市川向町
 下野倉庫株式会社
 電話 一四八番
 委託販賣、貨物貸付金

●大坂硫曹株式会社製品特約販賣 ●各種取揃(有之候ニ付御用命奉願上候
 ●關東硫曹株式会社製品特約販賣 ●見本御一報次第早速御送り可申上候

内外 各種 肥料 天
 宇都宮市上河原町
 手塚 豊吉
 電話二二三一(番)
 電略(テツカ)又ハ(テ)

萬商標 登録
 本店 宇都宮市宿郷町三番地 電話二〇七番
 支店 東京府北千住中組五五番地 電話下谷一八八三番
 宇都宮市宿郷町三番地
 電話二〇七番

寶積寺銀行宇都宮支店
 宇都宮市大工町五番地
 電話三五番 電略(ホウ)

諸貸附割引爲替代金取立確實ヲ旨トシ精々御便利ニ取扱申候

營業種目

藥品賣藥醫療器械
理化學器械
寫真器械附屬一式
コンデンスミルク特約店

宇都宮市馬場町
木村作次郎
電話一七番
日光中鉢石町
木村支店
電話百十一番

●海陸產肥料各種
●入山石炭各驛一手販賣
●好間石炭各驛一手販賣
●無煙炭各種大販賣

宇都宮市石町
針屋
村上濱吉
電話三三番

和紙卸商
洋紙卸商
宇都宮市千手町
油屋紙店
相場直三郎
電話四〇番

和紙ハ土佐、駿河、石見、美作等産紙ノハ悉ク全世直輸入ニ付中地タル東京若クハ大坂ノ手ヲカラ
ス故ニ兩都ノ相場ニ相勉メ可申候。洋紙モ舶來紙ヲ始メ内地各製造會社ノ撰定ニ係ルモノ一切取揃有
之候ニ付和洋共出精販賣可仕候間御用命奉願ト候

諸建築木材供給受負
諸木材廉價販賣
戸障子
諸建築工事請負業
業務擴張ノ爲メ從來ノ建具類賣場狹隘ヲ感シ肴町通ニ移轉仕候條
陸續御用命奉願候

宇都宮市日野町
半都賀屋木材店
篠崎安平
電話一三八番

大谷石材販賣

宇都宮市川向町停車場前
大谷石商會

石材坂本仲
問屋
(電話四〇八番)

光力電燈より光強し

アセチリン瓦斯
光料カーバイト
其他機具一式
石油ニ優
ル事百倍
危険ノ虞
毫モナシ
御注文ニ應ジ取付其他点燈迄一切請負可申候御
一報次第店員出張萬事御協議可申候

肥料麻苧
藍真繩

宇都宮市本郷町廿八番地
商號久喜屋

福田恒吉

電話三〇六番
電略クキヤ又ハキ

公告

明治四十三年度本會議所經費收入支出左表ノ通り本年七月廿七日定期總會ノ承認ヲ經
タリ依テ公告ス

明治四十四年七月

宇都宮商業會議所

宇都宮商業會議所明治四拾參年度經費收入支出決算表

科 目	收 入		支 出		比較 増減	備 考
	豫算金額	決算金額	豫算金額	決算金額		
第一款 選舉費	三五、〇〇〇	三三、三〇〇	減	一、七〇〇		會議度數豫定ニ上ラサリ シニヨル
第二款 會議費	八五、〇〇〇	四〇、〇〇〇	減	四四、九六〇		
第三款 給與費	一、〇六、〇〇〇	九九七、五三〇	減	一〇八、四六〇		給仕ノ雇入後レタルニヨ ル
一、書記給	七二四、〇〇〇	七二〇、〇〇〇	減	四、〇〇〇		
二、備給	二三三、〇〇〇	一五一、六七〇	減	八〇、三三〇		報酬ヲ要スル事項少ナカ リシニヨル
三、賞與費	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	同	〇		
四、諸報酬	五五、〇〇〇	二九、〇〇〇	減	二六、〇〇〇		不足額豫備費ヨリ流用
五、雜給	三五、〇〇〇	三六、八七〇	増	一、八七〇		
第四款 旅費	一八〇、〇〇〇	二〇三、五〇〇	増	二三、五〇〇		豫定ノ調査ヲ爲ス能ハザ リシニヨル
第五款 所費	二一五、〇〇〇	一三六、七一〇	減	七八、二九〇		
一、調査費	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	同	〇		豫定外ノ修繕ヲ要セシユ コト不足額豫備費ヨリ流用
二、公告費	一〇、〇〇〇	六六、三〇〇	減	一〇、〇〇〇		
三、通信費	七五、〇〇〇	六六、三〇〇	減	八、七〇〇		
四、消耗費	八〇、〇〇〇	七〇、四一〇	減	九、五九〇		
第六款 備品費	五〇、〇〇〇	四六、九六〇	減	三、〇四〇		
第七款 家屋費	一九五、五二〇	二一六、九七〇	増	二一、四五〇		
一、修繕費	五〇、〇〇〇	七五、七〇〇	増	二五、七〇〇		
二、火災保險料	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	同	〇		
三、借地料	三五、五二〇	三五、五二〇	同	〇		
四、庭園手入費	三〇、〇〇〇	二五、七五〇	減	四、二五〇		
第八款 印刷費	二五〇、〇〇〇	二〇五、九三〇	減	四四、〇七〇		
第九款 雜費	一八〇、〇〇〇	一六二、七五〇	減	一七、二五〇		
一、聯合會費	三〇、〇〇〇	二九、二五〇	減	七五〇		
二、交際費	三〇、〇〇〇	一九、六八〇	減	一〇、三二〇		
三、諸雜費	二〇、〇〇〇	一三、八二〇	減	六、一八〇		
第十款 豫備費	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	同	〇		
合 計	二、四五六、五二〇	二、〇四二、七〇〇	減	四一三、八二〇		
收入決算額	三、〇五六、一四〇	二、〇四二、七〇〇	差引 殘	一、〇一三、四四〇		備考
支出決算額	二、〇四二、七〇〇	二、〇四二、七〇〇	同	〇		定款第九十條ニ據リ積立金ニ編入
積立金	一金二千三百五十五圓八十錢	一金二千三百五十五圓八十錢	同	〇		明治四十二年未現在積立金
現積立金	一金千二百圓五十四錢	現積立金				明治四十三年度剩餘金及積立金預金利息
合計金	三千五百十六圓三十四錢	合計金				

明治四十四年七月卅日發行
宇都宮商業會議所
月報第九十九號

附錄

印刷發行所
荒川義興
宇都宮市旭町一丁目
宇都宮商業會議所
宇都宮市一條町三十七番地
電話 三六五